



肉となったわたしの様子を真剣に見てくれた学校の子も達は、最後にわたしたちのたましいがまつられている「獣魂碑」の前で手をあわせてくれました。

「私達のために肉になってくれてありがとう」「ぼくが使っている野球のグローブになってくれてありがとう」・・・そう言って、じつと手をあわせてくれました。

(小濱樹希歩・中西 優・奥田裕也・上野智靖)